

しなののうた

公園になりし境内ひさびさに華やぐ声と焚き火はちばち



杉田小百合

しなののうた

落葉掃く老いの背中に小春日が戯れ射せる師走のひと日

杉田小百合



しなののうた

柚子ひとつ湯船に放ち戯れば夢心地なる孫との会話



杉田小百合